

特記仕様書

1. 工 事 名 市道舗装補修工事
2. 総 則 本工事は、石川県土木工事共通仕様書に準拠するほか、この特記仕様書により施工するものとする。
3. 工 事 概 要
 - 1) 工事場所 能美市一円
 - 2) 工事概要 欠損部補修工 (1 t 以上2 t 未満/日) 12.0t
欠損部補修工 (2 t 以上5 t 未満/日) 6.0t
4. 工 事 数 量 別紙「施工数量表」による
5. 施 工 管 理 石川県土木部土木工事施工管理基準による
6. 指 定 仮 設 該当なし
7. 木 材 該当なし
8. 使 用 材 料 工事の使用材料については、県内で発生された材料及び製品を優先的に使用すること。
9. 施 工 一 般
 1. 一般事項
 - 1) 受注者は、監督員の指示に基づいて迅速に施工箇所の現地調査・測量を行い、その結果により施工図面を作成し、監督員の承諾を得て施工すること。
 - 2) 受注者は、監督員の指示に基づいて迅速に補修を完了させなければいけない。また、指示を受けた補修箇所に事故等の危険性がある場合には、当日中に応急復旧を行わなければならない。なお、現場、自然条件等により当日中に補修を完了できない場合には、発注者の指示を仰ぐこと。
 - 3) 受注者は、休日、夜間に関わらず応急処置等を指示する場合があることから、緊急連絡体制を確立し、対応すること。
 - 4) 受注者は個別箇所ごとに完成後、その都度、出来形図及び作業報告書（別紙）を作成し監督員に提出すること。
 - 5) 本仕様書は、仕様の大要を示すものであり、法規上、技術上当然施工すべき事項の他、施工上の納まり又は取り合い関係で、材料、寸法、取付位置、取付工法等についての軽微な変更及び測量誤差に起因する地盤高さ、建物位置、道路、水路、配管等の軽微な変更については、監督員の指示に従って、請負金額範囲内で施工に従事すること。
 - 6) 本工事に必要な関係官庁への申請手続き、並びに立会い検査等は、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は受注者の負担とする。
 - 7) 工事内容について不審なことがある場合は、監督員と協議して施工すること。これを怠り不備があった場合、再度施工すること。
 - 8) 資材搬入時等、走行は徐行運転を原則とし、騒音や振動に配慮すること。
 - 9) 進捗状況において1か月ごとに報告書を提出すること。
 10. 安 全 対 策
 1. 交通規制は規制帯と規制時間を極力短くし、案内看板や交通誘導員の誘導により円滑な交通を確保すること。
 2. 工事期間中、接続道路上で交通危害の恐れのある場合には保安要員、保安施設を配置し現道交通の安全確保に努めること。
 3. 交通誘導警備員は未計上であるため、配置計画等については監督員と協議し決定すること。

1 1. そ の 他

- 1 . 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。
- 2 . 従来の方法にとらわれず、常にコスト意識を持って工事に取り組み、設計に反映できるように努めること。
- 3 . その他不明な点は、あらかじめ監督員と協議すること。
- 4 . 本工事は「能美市建設工事成績評定要領」の対象としない。

1 2. 工 期 令和8年3月13日

石川県土木工事特記仕様書〔共通編〕

当該工事の対象は、○印の項目とする。

令和7年2月1日適用

対象

- 1 検査指定材料 ~~—(約款第13条第2項)—~~
- 2 見本資料指定材料 (共通仕様書第2編第1章第2節第4項)
- 3 資料指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第2項)—~~
- 4 段階確認指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第6項)—~~
- 5 立会い指定材料及び工種 ~~—(約款第14条第1項及び2項)—~~
- 6 中間検査 ~~—(共通仕様書1-1-1-23第8項)—~~
- 7 安全管理
- 8 施工条件明示
- 9 再生資源(利用及び利用促進)計画書及び実績表 ~~—(共通仕様書1-1-1-19)—~~
- 10 使用機械
- 11 廃棄物処理及び清掃に関する法律による管理表(マニフェスト)制度 ~~—(共通仕様書1-1-1-19第2項)—~~
- 12 コンクリート構造物の品質確保
- 13 電子納品・情報共有システムの対象
- 14 工事における創意工夫等の実施状況や総合評価方式における技術提案の履行状況
- 15 建設リサイクル法の対象
- 16 自主施工工事の対象
- 17 ICT施工工事の対象
- 18 いしかわ週休2日工事の対象 発注方式: ~~—【発注者指定型】—~~
- 19 余裕期間制度(フレックス方式)試行工事の対象
- 20 ウィークリースタンス等の推進
- 21 その他
- 22 ~~—「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」および、
「遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更」の対象工事
—※運用基準は県のHP「<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/kiijyun.html>」を参照~~

・本工事は、本特記仕様書〔共通編〕および「石川県土木工事共通仕様書」により施工すること。

・作成する書類については、発注者より特別な指示のない限り「石川県土木工事様式」及び「石川県土木工事施工管理基準」に基づき作成すること。

2 見 本 資 料 指 定 材 料（共通仕様書第2編第1章第2節第4項）

JISマーク表示品については、製品にJISマークが表示されていることが分かる写真等を監督員に提示することで、見本または品質を証明する資料の提出を省略できる。

区 分	印	見 本 又 は 資 料 提 出 の 対 象 と な る 材 料
1. 見 本		(1) 塗 料 (鋼橋、水門、鋼矢板、コンクリート面、落石・なだれ防止柵、スノーシェッド各塗装)
		(2) 捨 石 (港湾、海岸及び河川)
		(3) そ の 他 ()
2. 資 料 (検査指定材料以外のもの)		(1) コンクリート二次製品 ()
		(2) 形 鋼 類 ()
		(3) リサイクル製品 ()
		(4) リサイクル認定製品 ()
	○	(5) そ の 他 (使用する材料すべて)
3. その他の材料		(1) レディーミクストコンクリート（共通仕様書1-3-3-2）
		JISマーク表示認証製品を製造していない工場で製造する場合は、 配合計画書及び基礎資料を提出 ※上記以外は、省略可
	○	(2) アスファルト混合物（次のうちいずれかを提出すること）
		・アスファルト混合物事前審査認定書（写） ・配合設計・試験練り結果報告書 ・実績または定期試験による配合設計・試験練り結果報告書 (小規模工事：500t未満あるいは2,000m ² 未満)

(注) 指定材料は、○印とする。

3 資 料 指 定 工 種（共通仕様書3-1-1-3第2項）

区 分	印	資 料 事 前 提 出 の 対 象 と な る 工 種
1. 資料の事前提出		(1) トンネル (両坑口間の基準点、中心線測量結果)
		(2) P C 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(3) 鋼 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(4) 道路維持 (路面切削計画図)
		(5) 薬液注入 (事前調査)
2. そ の 他		

(注) 指定工種は、○印とする。

7 安全管理

- 1 受注者は、安全管理のための自主点検を実施するものとする。
- 2 自主点検の結果は点検書に記載し、保管するものとする。
- 3 受注者は、土石流の到達する恐れのある指定現場において、土石流に対する安全対策として監視員 1 名を設置し、流域状況の点検及び記録整理を実施するものとする。

4 安全訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に則した安全訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割当て下記の項目から実施内容を選択し、安全訓練を実施するものとする。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- (2) この工事内容等の周知徹底
- (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
- (4) この工事における災害対策訓練
- (5) この工事現場で予想される事故対策
- (6) その他、安全訓練等として必要な事項

また、土石流の到達する恐れのある指定現場については、関係作業員に対して工事着手後遅滞なく 1 回、及びその後 6 ヶ月に 1 回の避難訓練を実施するものとする。

5 安全訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、この工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

6 安全訓練等及び土石流監視報告書の実施状況報告





安全訓練等及び土石流監視の実施状況報告をビデオ等、または実施状況報告書に記録し、報告するものとする。

7 安全のための適切な臨機の措置

- (1) 気象状況等に関して常時十分な注意を払うこと。
- (2) 作業時に危険を予知した場合等においては、ただちに作業を中止し作業員を安全な場所に退避させること。
- (3) 異常箇所の点検・原因の調査等は、二次災害防止のための応急措置を行った後、十分注意して行うこと。

8 施 工 条 件 明 示

下記明示項目、事項のうち○印該当欄は、工事施工にあたって制約等を受けることになるので留意すること。

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
I 工 程	1 関連する別途発注工事あり ア 工 事 名 : () イ 入 札 予 定 : () ウ 制 約 工 種 : () エ 施工可能工種 : () オ そ の 他 : ()	
該 当 	2 他機関協議による工程条件あり ア 工 種 : () イ 期 間 : (年 月 ~ 年 月) ウ 協 議 機 関 名 : () エ 協 議 内 容 : ()	
	3 その他条件 ()	
II 用 地	1 補償物件撤去まで着工制限あり 対象物件 : 建 物 () 撤去予定 (年 月) : 工 作 物 () 撤去予定 (年 月) : 立 木 () 伐採予定 (年 月) : そ の 他 () 撤去予定 (年 月)	ア 着工予定 (年 月) イ 区間 (No. ~ No.)
該 当 	2 その他条件 ()	
III 公害対策	1 施工法の制限あり (条件及び位置については別紙及び位置図参照) ア 騒音 イ 振動 ウ 水質 エ 大気 オ その他 () 必要対策 : 工 場 () 井戸等 () : 学 校 () その他 () : 病 院 ()	
該 当 	2 その他条件 ()	
IV 安全対策	1 鉄道等の近接作業制限あり ア 工法制限あり イ 作業時間制限あり ウ 列車見張員 (配置人員: 1 日 名、延べ 名)	
該 当 	2 発破作業制限あり ア 防護工指定あり イ 作業時間制限あり 対策対象物 ()	
	3 交通誘導員 配置人員 交通誘導警備員 A : 1 日 名、延べ 名 交通誘導警備員 B : 1 日 名、延べ 名 ※上記交通誘導警備員 A については、石川県公安委員会が道路における危険を防止するため交通誘導警備が必要と認める区間の工事で、交通誘導警備業務を警備会社に委託する場合の交通誘導検定警備員である。	
	4 土石流発生のおそれがある 渓流あり ア 監視体制の強化が必要 イ その他 ()	
	5 夜間作業あり ()	
	6 その他条件 ()	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
V 工事用道路 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当 ×</div>	1 一般道路（搬入路）の使用制限あり	ア 搬入経路指定あり イ 時間帯制限あり
	2 一般道路の占用可能	ア 全面占用可 イ 片側占用可 ウ 時間制限あり
	3 仮設道路の設置条件あり 標識等の配置位置図等は 共通仕様書1-1-1-34による。	ア 一般交通供用あり イ 安全施設必要 ウ 路面工(工種 簡易舗装(標準横断面図)を参照) エ 工事完了後存続 W= m (最低総幅員)
	4 その他条件 ()	
VI 仮 設 備 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当 ×</div>	1 仮設構造物の転用 ()	
	2 仮設構造物の兼用 ()	
	3 その他条件 ()	
VII 建設発生土、 補足土、 産業廃棄物 等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当 ×</div>	受注者は、下記によらず施工する場合は、監督員と協議すること。	
	1 建設発生土	ア 名 称 () イ 所在地 () ウ 引渡し条件 ()
	2 補足土	ア 名 称 () イ 所在地 () ウ 引渡し条件 ()
	3 産業廃棄物	ア コンクリート塊 (処分施設：) イ アスファルト塊 (処分施設：) ウ 木くず (処分施設：) エ その他 (処分施設：)
	4 その他条件 ()	
VIII 工事支障物件 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当 ×</div>	受注者は、共通仕様書1-1-1-28に基づき、現場着手時に地下埋設物等の事前調査を行うこと	
	1 占用支障物件	ア 電気（電柱、支線、架空線） 移転日 (月 日) イ 電話（地下、電柱、架空線） 移転日 (月 日) ウ 水道（本管、給水管） 移転日 (月 日) エ ガス（本管、引込管） 移転日 (月 日) オ その他 () 移転日 (月 日)
	2 その他条件 ()	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
IX 現場環境改善 (5内容) ・率計上分	1 仮設備関係	ア 用水・電力等の供給設備 イ 緑化・花壇 ウ ライトアップ施設 エ 見学路及び椅子の設置 オ 昇降設備の充実 カ 環境負荷の低減
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">×</div> </div>	2 安全関係	ア 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) イ 盗難防止対策(警報機等) ウ 避暑(熱中症対策※)・防寒対策 〔※主に現場の施設や設備に対する熱中症対策 エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど〕
	3 営繕関係	ア 現場事務所の快適化 イ 労働者宿舍の快適化 ウ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) エ 現場休憩所の快適化 オ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
	4 地域とのコミュニケーション	ア 完成予想図 イ 工法説明図 ウ 工事工程表 エ イメージアップ看板 オ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) カ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) キ 見学所(インフォメーションセンター)の設置 及び管理運営 ク パンフレット・工法説明ビデオ ケ 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) コ 社会貢献
	・積上分	内容：
X 快適トイレ	「快適トイレ実施要領」に基づき実施すること。 実施内容および実施した場合の変更については、上記要領を参照すること。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">○</div> </div>	1 快適トイレを原則設置すること	
	2 契約後、監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる。	
X I 熱中症補正	「熱中症対策に資する現場管理費の補正の要領」に基づき、熱中症対策に係る現場管理費の補正※を希望する場合は、監督員と協議すること。 ※主に作業員個人に対する熱中症対策 (塩飴、経口保水液等の飲料水、冷却用品、空調服、熱中症対策キットなど)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">○</div> </div>	「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場を希望する場合は、監督員と協議すること。	
X III その他	1 現場発生材あり	品名・納入場所 ()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">○</div> </div>	2 支給材あり	品名・納入場所 ()
	3 工事の使用材料は、石川県エコ・リサイクル認定製品を優先的に使用してください。	
	4 工事の使用材料は、能美市内で生産された材料・製品を優先的に使用すること。	
	5 施工地域・工事場所区分	ア 市街地(DID補正) イ 一般交通影響有(2車線以上かつ交通量5000台/日以上) ウ 一般交通影響有(イ以外、常時全面通行止めを含む) エ 山間僻地及び離島
	6 設計図書の照査	土木工事設計図書の照査ガイドライン(案)に基づき実施し、照査項目チェックリストを提出すること。 (土木一式3千万円以上、舗装・造園工事1千万円以上、その他工事1.5千万円以上)
	7 品質証明の対象工事(共通仕様書第3編3-1-1-5)	
	8 労務補正(補正内容： 補正工種：)	
	9 契約後VE適用 VE提案を行う場合、以下を参照のうえ、発注者と協議すること https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/vekouji_toriatukaiyouryou.html	
	10 その他条件 ()	

10 使用機械

1. 本工事において、工事の施工にあたり石川県土木工事共通仕様書1-1-1-32第6項の表1-1-1に示す建設機械を使用する場合は、表1-1-1の下欄に示す建設機械を使用しなければならない。
ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械（共通仕様書 表1-1-1）	
機 種	備 考
<p>一般工事用建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。</p> <p>油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入・引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。</p> <p>ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p>

2. 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス対策装置を使用する場合の確認方法等
 - 1) 施工計画書への記載
施工計画書の指定機械項目に
 - ①機械名、
 - ②メーカー名、
 - ③形式名、
 - ④台数等を明記すること。

14 創意工夫・現場条件への対応・社会性等に関する実施状況

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や現場条件への対応に関する項目、または地域社会への貢献に関する事項について、工事完了時までに下記の様式により提出することができる。なお、総合評価方式における技術提案事項も、創意工夫等の対象となる。

工 事 名	受注者名	
項 目	内 容	備 考
<input type="checkbox"/> 創意工夫 (軽微な工夫)	<input type="checkbox"/> 施工	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫
	<input type="checkbox"/> 新技術登録技術	登録技術のうち「有効とされる技術」 登録技術のうち「有効とされる技術」以外 石川県新技術認定製品
	<input type="checkbox"/> 品質	工作物の品質向上に関する工夫 品質向上のための施工上の工夫
	<input type="checkbox"/> 安全衛生	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 工事特性 (施工条件への 対応)	<input type="checkbox"/> 構造物の特性	規模が特殊な構造物 複雑な形状の構造物
	<input type="checkbox"/> 作業環境 社会条件	地盤変形、近隣構造物、地下埋設物への影響 作業条件、工程等への影響 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 作業スペース制約・現道上の交通規制 緊急時の対応 広範囲にわたる施工箇所
	<input type="checkbox"/> 自然・地盤条件	湧水、地下水の影響 軟弱地盤、支持地盤の状況 気象条件の影響 地すべり、急流河川、潮流等、動植物等
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に 対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 災害時の支援、協力 ボランティアの実施

注 創意工夫等、該当する項目の□にレマークを記入し、写真・参考図等により
実施内容の詳細を任意様式（技術提案の説明資料や写真帳など）で提出すること。

説 明 資 料 (実 施 状 況)

工 事 名		
受 注 者		
項 目		
番 号 (技術提案)	内 容	
詳細な内容		
添付写真、図		

説明資料は、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

20 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、建設業の働き方改革を推進するため、受発注者協力のもとウィークリースタンス等に取り組むこととする。なお、工事着手前に受発注者間で下記事項について協議のうえ実施し、就業環境の改善に努めること。

<発注者の取組>

- 受注者からの質問や協議に対する回答については、基本的に「その日のうち」に回答すること。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に行うこと。
- 「月曜日の朝一番」及び「各建設会社のノー残業デー翌日の朝一番」を期限とした作業を指示しないこと。
- 「金曜日の作業依頼」や「昼休み・定時間際・定時後の作業依頼や打合せ」は控えること。

<受注者の取組>

- 工事着手前に工程管理方法について綿密に検討のうえ、作業間の関連や工事の進捗状況等を常に把握すること。
- 工事実施中において問題が発生した場合は、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督職員と書面で協議すること。

提出書類一覧（情報共有システム工事対応版）

R5. 7. 1～

名 称	代理人 ﾏﾈｼﾞｱ	監督員 ﾏﾈｼﾞｱ	情報共有システム使用の有無			検査時 提示のみ	フォルダ	備考	摘要
			無	有					
			従来納品 (紙)	従来納品 (紙)	電子納品				
工事工程表・変更工程表			○	○	—	—			約款第3条 締結の7日以内
施工計画書			○	—	○	—	PLAN/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-4 請負額1千万円以上
工所用カルテ（CORINS）			—	—	—	○		受注時・変更時・完成時 （契約後10日以内）	共通仕様書第1編1-1-1-5 請負額5,000千円以上
施工体制台帳・施工体系図			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-10 下請負契約有りの場合
再生資源（利用、利用促進）計画書・実績表			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-18
工事打合せ簿			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第10条 共通仕様書第1編1-1-1-2
材料検査願			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第14条 特記で指定されている項目
見本資料指定材料確認願			○	○ （一部）	○	—	MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は 紙での提出も可	約款第15条 特記で指定されている項目
立会確認書			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第15条 特記で指定されている項目
段階確認書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-4 特記で指定されている項目
中間検査願			○	○	—	—			共通仕様書第1編1-1-1-22
確認願			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第19条
調査結果通知書、設計図書訂正・変更通知書			○	○	—	—	MEET/ORG	発注者が作成し、 受注者に渡す	約款第19条、第20条
既済部分検査願			○	○	—	—			約款第38条 部分払いのある場合
仮設交通安全標示施設等自主点検書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
安全管理自主点検書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
安全・訓練等実施状況報告			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
マニフェスト（総括表）			○	—	○	○ （伝票）	MEET/ORG	総括表のみ提出 伝票は提示のみ	共通仕様書第1編1-1-1-18
品質管理表			○	○ （一部）	○	—	MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は 紙での提出も可	共通仕様書第1編1-1-1-21
品質証明員通知書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-6（100,000 千円以上）
品質証明書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-6（100,000 千円以上）
コンクリート耐久性向上対策			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
出来形管理表・出来形図			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-21
コンクリート構造物の品質管理			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
工期延長願			○	○	—	—	MEET/ORG		約款第22条 共通仕様書第1編1-1-1-15
工事中写真			○	—	○	—	PHOTO/PIC		共通仕様書第3編3-1-1-7
完成写真			○	○	○	—	PHOTO/PIC		共通仕様書第3編3-1-1-7
参考図			○	—	○	—	PHOTO/DRA		
建退共掛金収納書 （中小企業退職金共済制度、林業退職共済制度は写）			○	○	—	—			締結後1ヶ月以内
完成図			○	—	○	—	DRAWINGF		共通仕様書第1編1-1-1-20 発注図CADで渡した場合
完成届			○	○	—	—			約款第32条
請求書			○	○	—	—			約款第32条
工事引渡書			○	○	—	—			約款第33条
電子納品成果品CD・DVD-R			—	—	—	—		CD又はDVDを確認	CALS/EC対象工事
創意工夫実施状況			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
技術提案履行確認シート			—	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
交通誘導員伝票（総括表）			○	—	○	○ （伝票）	MEET/ORG	総括表のみ提出 伝票は提示のみ	